

2013年8月30日

“GPS/JIPS”活動及び化学物質のリスク評価の総合支援サイト “JCIA BIGDr”を会員向けに公開

一般社団法人 日本化学工業協会（会長：高橋恭平 昭和電工株式会社会長 以下、日化協）は、本日、“GPS^(*1)/JIPS^(*2)”活動及び化学物質のリスク評価の総合支援サイト “JCIA BIGDr^(*3)”システムを日化協会員向けに公開しました。

日化協は、国際化学工業協会協議会（ICCA）が世界的に推進する“GPS”の日本版として、サプライチェーンを通じた化学物質のリスク低減を目指す自主活動“JIPS”に2009年から取り組んでいます。この活動の骨子は、化学事業を営む各社が自社の化学物質/化学品のリスクを評価し、その結果を「安全性要約書」にまとめて社会一般に広く公開することです。

これまでに日本企業の作成した約140件の「安全性要約書」がICCAのサイト「GPSケミカルズポータル」に公開されています。

GPS/JIPS活動を推進するにあたり、リスク評価を行なうための各種情報の収集や安全性要約書の作成方法等で困難を感じる会員企業もあることから、日化協は、これらの課題の解決を支援し、GPS/JIPS活動を更に強力に推進するための総合支援サイト“JCIA BIGDr”の開発を進め、このたびイニシャル版を会員向けに公開しました。

“JCIA BIGDr”はユーザーフレンドリーの視点を重視し、次の5つの提供機能を有します。

- ① 官公庁等が公開し、国内に点在する代表的な有害性情報データベースの「一括検索機能」
- ② 日本企業が作成した「安全性要約書の検索支援機能」
- ③ リスク評価から安全性要約書の作成・登録までをサポートする「各種コンテンツ・資料集」
- ④ 有害性評価やばく露評価等に関する国内外の有益な情報源をまとめた「解説付きリンク集」
- ⑤ リスク評価や安全性要約書作成に際しての疑問や質問に回答する「ヘルプ機能」

日化協は、今後も“JCIA BIGDr”の開発・運用委託先のみずほ情報総研株式会社と連携し、ユーザーに適切なアドバイスやサポートを行なう各種ドクター機能の拡充や、会員ユーザーの声を反映させた本システムのバージョンアップを順次行ないます。また、数年以内には“JCIA BIGDr”の一般公開も視野に入れています。

日化協は、化学産業全体でGPS/JIPSを推進することにより、化学物質の製造から廃棄に至るライフサイクル全体でのリスク低減や、サプライチェーン全体に渡るリスク評価・低減を通じて、2020年までの国際的な共通目標である「化学物質の健康・環境への影響を最小化すること」を目指します。

- (*1) **GPS** : Global Product Strategy
事業者がサプライチェーン全体を通して自社の化学品のリスクを最小限にするためにリスク評価を行い、リスクに基づいた適正な管理を実施すると共に、その安全性及びリスク評価の情報を、顧客を含む社会一般に公表する自主的な取組み
- (*2) **JIPS** : Japan Initiative of Product Stewardship
GPSの日本版
- (*3) **BIGDr** : The **B**ase of **I**nformation **G**athering, sharing & **D**issemination for **r**isk management of chemical products
「ビッグドクター」、事業者の化学品管理を総括的に支援するための情報収集・共有・発信の基盤システム

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人日本化学工業協会

広報部

化学品管理部

高水

安永

TEL : 03-3297-2555

TEL : 03-3297-2567

【ご参考】 JCIA BIGDr 概念図

